

## 福岡市外国人材受け入れプラットフォームセミナー

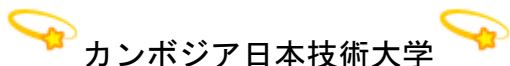
カンボジア日本技術大学 副学長 酒井 亮

2021年11月18日 14:00から



### 自己紹介

酒井 亮（サカイ アキラ） 48歳  
1995年 福岡介護福祉専門学校卒業 4回生  
2010年 株式会社やってん堂開業 代表取締役就任  
2012年 博多区にてデイサービス事業開始  
2014年 ケアイノベーションアタック主催（2017年まで開催）  
2017年よりカンボジアにて介護教育事業に従事している。



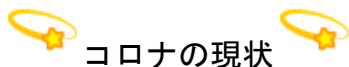
### カンボジア日本技術大学

2018年9月開学 国際社会福祉学部／日本介護学科、国際語学部／日本語学科  
2年間の短期大学（卒業後日本での就労が  
現在 170名在籍



### カンボジアの紹介

- ◎カンボジア王国（首都プノンペン都）  
人口1600万人、平均年齢25歳とても若い国  
世界遺産であるアンコールワットが有名で、世界各国からの年間観光客は260万人。  
東南アジアの中心に位置している。  
立憲君主制：国王を中心とした法治国家（現首相フンセン氏）  
仏教国（国民の95%以上）



### コロナの現状

- 2021年11月8日現在
- ◎カンボジア保健省発表感染者数  
カンボジア国内における感染者数は合計119,160名、死者2,835名です。

(治癒者数：115,519名)。現在も毎日100人程度の陽性者が発生している。

- ◎ 6歳から12歳までの子供に対するワクチン接種は、対象人数の1,897,382人に対して100.11%と、統計上はすべての子供に接種完了。12歳から18歳の子供1,966,931人に対しても90.59%。総人口推定1,600万人に対しても85.33%。世界的にも秀でた数値。シノバック、シノファーム(中国製)、インド製、アストラゼネカ(日本製)

- ◎ ロックダウンについて

※州間の移動を禁止する措置を強行に実施、陽性反応者の強制隔離(専門病院)陽性者と同じマンションに住む住人に対して隔離(外出禁止令発動)など行われた。

- ◎ ワクチン接種カードの提示義務 ※スーパーに入る際などに提示義務あり
- ◎ プノンペン都は、カラオケ、バー、ディスコ等の営業禁止措置を明日から11月11日まで更に14日間延長。また、先の通達のとおり50人以上の集会を改めて禁止。
- ◎ カンボジア政府は、シアヌークビル、ロン島、ダラーサーコー(ココン州)へは11月30日から、シエムリアップ州は1月1日から、ワクチン接種者について隔離なしでの入国許可を準備中。
- ◎ 国民はコロナ感染を非常に恐れている。(特に地方にいる親御さんは子供がプノンペンに行くことを懸念し外出をさせないほどである。)
- ◎ 間違った感染症対策が流布し情報が錯綜し混乱を招くこともあった。  
※お金を洗濯したり、熱いお湯がウイルスを死滅させるなど。
- ◎ 11月15日からカンボジアへの入国制限が解除され、入国前72時間以内のPCR検査陰性証明書とワクチンの2回摂取記録があれば、ホテル等での隔離は免除されることとなりました。
- ◎ 教育青年スポーツ省は、クラスの人数に制限をつけた上で、すべての学校の再開を11月1日から許可。  
※教育青年スポーツ省の条件として週2回のPCR検査の実施、警察官への報告、保健省職員の同席など再開に関して厳しい条件となっている。
- ◎ 在カンボジア日本大使館  
在留資格別に段階的に申請を受け付けしている。
- ◎ 11月8日から日本において入国緩和措置がなされているが、カンボジアは中国製、インド製のワクチンであり、今回の入国緩和措置の対象国とはなっていないため、14日間の隔離を必要とする。



 政治 

- 立憲君主制：ポルポト崩壊、長期政権をフンセン首相が維持しています。



 経済 

- 主要産業は（縫製業）（農業）（観光業）である。

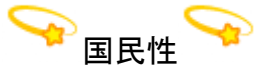
カンボジアはコロナ前においては GDP は年間 6%から 7%の成長を見せていた。しかし、コロナによる経済活動の停止により、2020 年度の経済成長は-1.9%となった。やはり、観光業が壊滅したことが大きい。昨年のカンボジア最大の観光地であるアンコールワットの観光者はほぼ 0 に等しかった。

 一般教育 

- 日本と同じく小学校 6 年、中学校 3 年、高校 3 年であり、小学校、中学校は義務教育です。しかし 1 日 3 時間程度の授業しか行われず、午前と午後の 2 部制となっている。大学も午前、午後、夜間の 3 部制で 1 日各クラス 3 時間しか講義が行われぬ。小学校の進学率は 95%以上あるが、中学校では 50%、高校では 20%、大学までの進学率は 1%であり大学まで進学することは国内ではエリートとされる。またカンボジアでは働きながら大学で学ぶことが一般的であり、学生がアルバイトをするという感覚より、仕事しながら大学に通う。という表現に近い。
- 昔はファミリーブック（戸籍証明書）の管理が杜撰で、小学校の入学時など体の成長に合わせて許されていたようで、同じ年齢でも学年が違うということもあったとのこと。トンレサップ湖の中にある小学校など、タライで通学するため、タライで通学できることが入学要件となることもあったとのこと。

 介護人材の育成 

- 介護人材育成について専門的知識を有している人はカンボジアにはほとんど存在していない。個人的に特定技能試験の対策講座を開講しているが、組織的に教育を行なっているところは数カ所である。



## 国民性

- 仏教国であり、国民の95%以上は仏教徒である。
- 国民性としてとても優しく、おとなしい性格。争い事を望まない。  
※暴力を振るうのは勉強していないから。との結論を持っている。
- とても若い国であり平均年齢が25歳であり、35歳以下で全人口の75%を占める。
- 思っていることをあまり表に出さないため、我慢していることが多い。面前で指摘されることを嫌うなどプライドが高い。
- 家族を大切にする。
- 給与を1年に一度交渉に来る。新たな仕事を依頼する際も給与交渉に来る。  
※しっかりと説明を行うと納得する。（日本人と同じような給与交渉ではない。）
- 親日国でもあります。日本の無償経済支援についてとても感謝している。



## 今後の課題

- 国内の産業が限られている為、職業の選択が少ない。
- 高等教育へ進むことができる人は少なく、生活のために働かざるを得ない人が多い。
- 生活するために仕事をしなければならず、日本語を学ぼうと思っても長期間、長時間の学習を行うことができない。
- 日本語の習得率が悪く、1年以上の長期間の日本語学習でもN4（JLPT）を取得することは困難である。
- 介護での就労条件は日本語能力（N4）、特定技能評価試験、介護の日本語の試験に合格しなければならず、カンボジア人にはハードルが高いため、介護での就労を希望するカンボジア人は少ない。
- 他職種（建築、農業）では企業側からの採用後に日本語学校へ入学し一定期間の日本語学習を行う。しかし介護に関しては、就労条件が整っている人材しか面接対象ではないため、選ぶ人が少ない。
- 日本語、介護の学習に関して長期間に渡るため、教育コストが高い。
- 介護の職業概念がない。  
※カンボジアには介護という日本的職業概念が存在しない。高齢者や障害者のお世

話という文章になる。その為、日本のような職業としての介護概念は存在しない。両親などは介護をメイドと捉えている。わざわざ大学まで言ってメイドになるのか？と言われた学生もいたとのこと。その為、カンボジア国内において、まずは介護の職業についての広報が必要です。